



飯沼中だより 11月

一人ひとりが輝き 学級 学年が輝く学校 平成29年11月1日(水)
飯沼中学校 TEL 746-7321 さわやか相談室 746-4572
<http://www.iinumachu.av-center.kasukabe.saitama.jp/> 生徒数 356名 (11月1日現在)

みんな同じ

3年2組 松井 香葉

私は以前、学校のなかで、障害のある子に対して裏で悪口を言ったり、その子の前で意味も無い何かを言ったりするところを見かけたことがあります。ですが、なぜそのような事をするのか、私には分かりません。これは、「いじめ」とも言えると思います。言っている本人は楽しくてやっているのかもしれませんが、見ている方はとても嫌な気持ちになります。障害があるかないか、そんなこと関係ありません。人はみんな同じ人間で、同じ時を過ごしています。大事なものは、障害のある人も無い人も、同じように接していくことです。

実際に私の家族にも、障害を持っている妹がいます。妹は、歩くことも出来なければ、話すことも出来ません。自分の意見を周りに言うことの出来ない妹に対して昔の私は、「かわいそう」という感情を抱いていました。そんなある日、私は母からこんな質問をされました。「自分の妹のこと、香葉はどう思う？」

私はとても驚きました。そのときの私は、黙り込んでしまいましたが、母はこう続けました。

「障害があっても、香葉と同じ人間で、話せないけど感情があるんだよ。『かわいそう』なんて思わないのが普通だよね。」

私はドキッとしました。その言葉は、今でも心に残っています。障害があるからといって、他の人とは何も変わらないのです。同じ人間で、同じ時を過ごして、同じように生きています。その日から、私は心の中に「かわいそう」という感情は無くなり「私と同じ人間で、同じ時を過ごしている。」そう思うようになりました。

今の私は、妹と、とても充実した日々を送っています。朝起きてから「おはよう」と声をかけると、ニコッと笑ってくれます。時間がある時は、体を動かしたりして、一緒に遊んだりもします。妹は、音楽が好きなので、テレビからアニメの曲が流れてくると、声を出して笑ったり、歌ったりしています。また、私がピアノの練習をしていると、少しですが歌ったりしてくれます。最近は、出来ることが増えてきて、私の毎日とても楽しくなっています。

今までしゃべれなかったのが、少しずつしゃべれるようになる。名前を呼んだら返事をしてくれる。皆さんには当たり前のことかもしれませんが、私たち家族から見れば、とても大きな成長です。出来なかったことが出来るようになる。これは、障害がある人も無い人も同じこと。そして、大きな感動ではないでしょうか。みんな同じ人間です。感動も傷つきも、楽しみも悲しみも、みんな同じ時の中で同じように感じているのです。障害があるかないか、そんなことは関係ありません。また、障害だけではなく、外見や肌の色、信じる宗教などでその人を判断し、差別するのはおかしいと思います。このような人たちをいじめている人より、障害があっても頑張って、毎日一生懸命生きている人たちの方が、未来が見えているのではないのでしょうか。

私は、障害を持っている人や、自分の考えと違う人をいじめている人たちに、私と同じように感じてくれるように働きかけていき、「人はみんな同じ。」だということを伝えていきたいと思っています。そして何より、健康で生まれてきて、何一つ不自由なく恵まれた生活が出来ることに感謝し、大好きな妹と、家族とこれからも楽しく過ごしていきたいです。

(春日部市人権作文 優秀賞)

松井さんは今年の体育祭で、妹さんに招待状を渡してくれました。雨上がりの暑い日でしたが、皆さんの競技や演技を応援してくれていました。ありがとうございました。

